

## 会長就任あいさつ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏



このたび、2019年6月16日（日）に開催された、第8回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会において4期目に選任されました。

今期は、職能団体によるチーム医療の推進にチャレンジしてみたいと考えています。職能団体の役員同士は、賀詞交歓会や行政が主催する式典などでよく顔を合わせ、情報交換を行っていますが、これまで職能団体の一般の会員同士の交流は行われてきませんでした。

そこで、まずは、比較的交流のある公益社団法

人埼玉県臨床検査技師会と交流を試みることにしました。お互いの会員が、お互いの企画に会員価格にて参加できるというのもです。そしてお互いのホームページにリンクを貼ることによって、お互いの活動を知ることができる。そうすることによって、病院内で会話が生まれ、会員レベルでの交流に役立つと考えています。医療における多職種のスキルミックスの一助になればと考えています。

## 役員就任あいさつ

### 副会長



堀江 好一

JCHO さいたま北部医療センター

今期、理事として選任され、引き続き副会長を努めさせていただくことになりました。

理事として22年目を迎えましたが、今期こそ人生の節目と考え、田中会長を陰で支える最古参の理事として2年間お仕えしたいと思います。よろしくお願い致します。

### 副会長



富田 博信

埼玉県済生会川口総合病院

第8回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会において、副会長に（4期目）選任されました。今期で3期目になります。一昨年の総会時には、会員数増加を目標としておりましたが、ここ数年、埼玉県診療放射線技師会会員は順調に伸び、1300人を超えました。これは関係各位の尽力の賜物と思っており心より感謝申し上げます。

さて、本年度は9月に第35回日本診療放射線技師学術大会があります。本会にとって最も大きなイベントであり、県内外の診療放射線技師の結束を深め、成功裏に終わりたいと思っております。このイベントを通じて、県内診療放射線技師のさらなるレベルアップと結束力向上が期待でき、また20年近く培ってきた、本会の認定制度に関しても全国に発信できればと思っております。今期においても多くの講習会、セミナーなど企画してまいります。引き続き、皆さまより変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 常務理事（総務）



結城 朋子

埼玉県済生会川口総合病院

平成から令和へ元号も変わり、当会の組織も新しくなり今期も総務を担当させていただくこととなりました。総務を担当して4年が過ぎました。毎月の会議、フレッシュャーズセミナー、賀詞交歓会などの企画・運営のほか、各種委員会活動のサポートなど多岐にわたる業務を経験してきました。就任当初は年間のスケジュールをこなすことがやっとでしたが、最近は少なからず余裕もできました。とはいえ、会の定款や諸規定をそらでいえる歴代の総務担当責任者には及びませんが、今期2年間、少しでも会の運営をスムーズに行えるよう努力していきたいと思っております。再任となりますがよろしくお願い致します。

常務理事（総務）



城處 洋輔

埼玉県済生会川口総合病院

今期も引き続き総務常務理事を担当させていただくことになりました、埼玉県済生会川口総合病院の城處（きどころ）です。2期目となり埼玉県診療放射線技師会の組織や総務としての会務がようやく把握できてきました。本年度は、第35回日本診療放射線技師学術大会が埼玉県で開催されることとなり、その準備に追われる日々ですが、例年開催している多くの事業も含めて円滑に実施できるよう努めていきたいと存じます。また、埼玉県診療放射線技師会に対するご要望など会員の皆さまの声も常に聞いていきたいと思っておりますので、何かございましたらお気軽に申し付けください。至らない点も多々あると思っておりますが、どうぞよろしくお願い致します。

常務理事（財務）



潮田 陽一

埼玉医科大学総合医療センター

今年はJARTの学術大会が埼玉であり、2つの財産を管理することとなります。無駄を省く部分では無理のない方法をお金を使う必要がある箇所は収支やメリット・デメリットなどを考慮した上での助言・提案をし、健全な運営の手助けが行えるよう努めていきたいと思っております。

常務理事（学術）



今出 克利

さいたま市民医療センター

学術理事を平成24年度より2年間、学術常務理事を平成26年度より5年間務めさせていただき、今期も継続して学術常務理事を担当させていただくことになりました、さいたま市民医療センターの今出です。埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまのお役に立てるよう、学術委員と一丸となって頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

また、本年度は9月14日（土）～16日（月）に大宮ソニックシティにおいて、第35回日本診療放射線技師学術大会が開催されます。現在、学術委員一同、参加された皆さまに満足いただけるよう、鋭意準備を進めております。ぜひ、ご参加いただきますよう、お願い致します。

常務理事（編集・情報）



八木沢 英樹

JCHO 埼玉メディカルセンター

JCHO 埼玉メディカルセンター八木沢 英樹と申します。今期も編集情報（企画班）担当を仰せつかりました。編集情報（企画班）委員会では、会誌「埼玉放射線」企画・発行とホームページの更新・お知らせの掲載を主に行っております。会員のためになる必要な情報を、迅速に発信できるよう心掛けております。また会誌には、「誌上講座」を設けており、随時投稿なども受け付けております。会誌・ホームページ企画に関して、何かご提案などございましたらお気軽にご連絡ください。編集情報（企画班）委員会を宜しくお願い致します。

常務理事（公益）



佐々木 健  
上尾中央総合病院

今期も公益常務理事を務めさせていただく事となりました、上尾中央総合病院 佐々木健です。従来 of 事業に加え、平成 30 年度より新たに「被ばく相談事例検討会」を開催させていただきました。令和 2 年 4 月には改正医療法の施行が予定されております。職種別の放射線研修が求められておりますので、今期はこの点に力を入れ、多職種・学生、地域住民の放射線への理解度を上げていければと考えております。

公益委員会活動は理事、委員ひいては会員皆さまのお力添えがあって成り立つものだと認識しております、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事（学術）



寺澤 和晶  
さいたま赤十字病院

さいたま赤十字病院 放射線科部 寺澤和晶です。埼玉県に勤務異動して 4 年目になりました。それに伴い、埼玉県診療放射線技師会にお世話になることになりました。同時に、学術委員・学術理事として勉強会・講習会・研修などのイベントのお手伝いをさせていただきました。埼玉県診療放射線技師会の良いところは、日本診療放射線技師会（日放技）と協調しつつ、自前の組織力で独創的な活動ができているところです。つまり、公益社団法人として日放技の下部組織ではなく、同等もしくはそれ以上を目指しているということ、会員目線できめ細かいサービスが提供できているところです。やはり、地方の診療放射線技師会の運営が厳しい状況の中で、会員数を増加させているところが答えだと考えています。プレッシャーはありますが、今期も理事として微力ながら協力・貢献できればと思っております。どうかよろしくお願い致します。

理事（学術）



山田 智子  
さいたま赤十字病院

このたび、2019 年 6 月 16 日（日）に開催された、第 8 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会において理事（学術）に選任されました。

今期は、2019 年 9 月に全国大会が埼玉で開催されることもあり、現在理事、委員一同協力して準備に当たっております。その中でも諸先輩方が培ってこられた「埼玉らしさ」を企画に盛り込んでおり、全国の技師のみではなく参加いただく世界の診療放射線技師に有意義な大会になるように努力して参ります。

また、各種学術講習会なども充実させていき会員皆さまの日々の業務に役立ててもらいたいと思えます。さらに、それらを通していつでも安心・安全な検査を患者へ提供できるようになればと思っております。ぜひ一人でも多くの会員の方のご参加をお待ちしております。今期もどうぞよろしくお願い致します。

理事（学術）



中根 淳  
埼玉医科大学総合医療センター

謹啓 初夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと中根淳は、このたび令和元年6月16日付をもちまして埼玉県診療放射線技師会の理事に就任致しました。

さまざまな年代や地域の会員の皆さまに有益な企画を立てられるよう、一層の努力を傾けるとともに、本会の発展に力を尽くして参りたいと念願しております。今後とも引き続きご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

まずは 略儀ながら書中をもって就任のごあいさつを申し上げます。

謹 白

理事（編集・情報）



清水 邦昭  
深谷赤十字病院

前期に引き続き編集情報理事を務めさせていただきます、深谷赤十字病院の清水邦昭です。以前は編集情報委員として2期、その後、理事として2期会誌や技師会ホームページの充実、メールマガジンの配信を行ってまいりました。

今後もよりいっそう魅力のある会誌作りや、皆さまに役立つ情報の多いホームページ作りを行っていきたいと思っております。

会員の皆さまには、今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（公益）



紀陸 剛志  
埼玉医科大学病院

このたび、公益委員の理事を務めさせていただくことになりました、埼玉医科大学病院の紀陸剛志と申します。2年前に公益委員となり、これまでに放射線特別授業、メールによる被ばく相談、学術大会での市民公開講座とさまざまな経験をさせていただきました。

公益とは、社会一般のためになることとありますが、その公益事業は、地域住民の方々との信頼関係から成り立っています。そのためこれまで先輩方が築き上げてきたものを継続しつつ、公益委員として力を合わせて幅広く活動できるように努めていきたいと考えております。

9月に全国診療放射線技師学術大会が開催されます。会員の皆さま、県民の方々のために一生懸命頑張りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



理事（総務）第一支部



双木 邦博  
さいたま市立病院

このたび、第一支部理事を務めることになりました、さいたま市立病院中央放射線科双木邦博（なみき くにひろ）です。

第一支部の理事を務めて今年で10年目となります。長期間理事を務めているためマンネリ化している面もあると思いますが、前期より少しは埼玉県診療放射線技師会のお役に立てるように頑張っていきます。

支部勉強会、合同勉強会を開催して第一支部会員の皆さまへ少しでもお役に立てるよう、今後も他支部と相互に交流して親交を深めて行きます。

また、今年第35回日本診療放射線技師学術大会が埼玉県さいたま市で開催されます。第一支部役員、会員の皆さまのお力をお借りして学術大会を成功させたいと思っております。

今期もどうぞ、よろしくお願い致します。

理事（総務）第二支部



大西 圭一  
所沢ハートセンター

第2支部理事を担当させていただく大西と申します。

「頼られる診療放射線技師を目指して…今、何をすべきか？」

なぜ勉強会に行くのか？なぜ学会発表が大事なのか？自分に何が必要で何をすべきか？

自分で考え、行動できる「グロスマインドセット」を持つ人材が増えるよう、支部を盛り上げていきたいと思っております。

「成長」という共通の目標のためには十分な時間と努力と支え合いが欠かせません。

世代が違い、組織も違い、得意なモダリティも違いそれぞれ違いますが「自分も学びつつ、学ぶ人を応援する」そのような関係性を皆さまと作っていきたく思いますので今後ともよろしくお願い致します。

第2支部の代表としてSARTに貢献できるよう務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

理事（総務）第三支部



大野 哲治  
埼玉医科大学総合医療センター

第三支部の理事に就任しました埼玉医科大学総合医療センターの大野哲治です。

4年ほど前になりますが、第三支部役員として勉強会や親睦会の準備、運営などに2年間携わり、大変なこともたくさんありましたが、同じ世代の役員と共に和気あいあいと活動していたことを覚えています。

今回、支部理事になり、責任の重さと役割の大きさに戸惑いもありますが、埼玉県診療放射線技師会を盛り上げるため、技師会ならびに支部の活動に尽力するとともに、支部役員一丸となり支部を盛り上げていきたいと思っております。また技師になって日の浅い方や技師会に入会されていない方、第三支部以外の方にも、支部活動に参加していただきたいと思っています。魅力ある内容の勉強会や親睦会を開催することで多くの方が参加され、支部全体を盛り上げ、活気あふれる第三支部にしたいと考えています。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

理事（総務）第四支部



大野 渉  
羽生総合病院

このたび、斉藤理事の退任に伴い、新しく理事に就任致しました羽生総合病院の大野です。今までは前任の山田、斉藤両理事に付いていただけでしたので。私に務まるのか、4支部を引っ張っていけるのかどうか今不安で仕方ありません。人前であいさつしたりすることがとにかく苦手でそこは早く是正したいと考えています。引き続き会員中心で行う勉強会、秩父・深谷・行田で毎年行われている公益活動を地道にやっつけていこうと考えています。また徐々に他の役員や会員の皆さまのお力添えを頂いて、自分の色を出していけたらと思います。2年間よろしくお願い致します。

理事（総務）第五支部



矢崎 一郎  
春日部市立病院

代り映えもなく、今期も理事を務めることになりました。ここ数年で私を取り巻く環境がだいぶ変わり、戸惑っている私があります。初めて理事を引き受けたころよりだいぶ年を取ってしまいましたが、あの頃と同じ気持ちで務めていくつもりです。ご協力いただいている方々には、また同じご迷惑を掛けることとなりますがご容赦ください。

支部の情報交換会の形も第五支部周辺を取り巻く環境も年々変わっております。いつも同じではなく、進化していけるように方向を向けて走っていきたいと思います。

理事（総務）第六支部



茂木 雅和  
上尾中央総合病院

このたび、埼玉県診療放射線技師会第六支部の理事（会長）に就任しました、上尾中央総合病院の茂木です。日頃は、支部のさまざまな活動などにご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。会員の皆さまにおいても動向について色々気にされている部分もあると思われませんが、山口前会長のご尽力により良くなった部分をさらにより良いものにする、その大役として責任を感じております。支部の活動は、その地域の医療に貢献するための一部です。これからの2年間の任期の間、皆さまどうかご支援ご協力をお願い申し上げます。

監事



橋本 里見  
JCHO 東京新宿メディカルセンター

このたび、3期目の監事に就任することとなりました。監事は、理事の職務の執行を監査し、業務および財産の状況を監査するという重要な職務であると同時に、議決権はありませんが理事会に出席して意見をいう権利を与えられております。その監事の重責を、これまでの経験を基に粛々と果たし、埼玉県診療放射線技師会の発展に微力ながら貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

監事



浅野 克彦

このたび、当会の監事を拝命致しました、浅野克彦（あさのかつひこ）と申します。私は、診療放射線技師としての業務はもちろん、資格も有していません。以前、田中会長が主催しておりました勉強会に参加したということだけが、診療放射線技師の業務に間接的にでも関わった経験です。

しかし、多様化・複雑化する社会において、医療の現場も例外ではなく、専門家としての診療放射線技師の存在感は高まってきていると感じている人間の一人であります。診療放射線技師の皆さまが、医療の現場においてより重要なポジションに置かれ、業務を行いやすくするための制度改革などを実現していくために、国や地方の行政に関わってきた経験を生かしてまいります。

若輩者ではございますが、皆さまのご指導をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員皆さまのご隆盛を祈念し、当会の発展に微力ながら尽力させていただくことをお誓い申し上げ、監事就任のごあいさつと致します。

顧問



小川 清

このたび、会長はじめ役員の方々の御推薦により、引き続き本会の顧問を引き受けさせていただくことになりました。私の信条は、「立つ鳥跡を濁さず」です。継続して顧問を引き受けることに際し、少しちゅうちょしましたが、時間の推移あるいは環境の変化もあり、また違った視点から発言できるかと感じました。人・もの・かね・情報が行き交う現在社会において、見通しの不透明な将来をにらんで、最も大切なことは人です。「試練は人をつくる」といわれます。本会は意識的に試練を自ら探し出し、試練に立ち向かい、そしてそれを評価する組織です。微力ながらお手伝いさせていただきます。よろしくお願い致します。



## 役員退任あいさつ

### 理事（公益）



芦葉 弘志  
丸山記念総合病院

会員の皆さま、埼玉放射線を購読の皆さま、こんにちは。  
このたび、役員選挙ならびに理事会において、公益担当理事を退任することになりました芦葉です。

公益担当時代は、継続開催のホームページからの被ばく相談・放射線特別授業などに取り組みました。また昨年からは3D体験コーナーを立ち上げ、未来ある児童・生徒・県民の方々へ画像を通して人体解剖の知識を深めていただき、われわれ診療放射線技師のお仕事を理解していただきました。本年9月の大宮で開催の診療放射線技師学術大会においても企画しております。

これらの企画を通して一人でも多くの方に放射線の安全について知っていただき、安心した放射線診療が受けられるよう努力してきました。今後は、別の立場とはなりますが、会員個人や県民にとって親しみのある埼玉県診療放射線技師会となるように応援していきたいと思っております。

### 理事（総務）第三支部



山岸 正和  
埼玉医科大学国際医療センター

このたび、役員改選にて第三支部理事を退任することになりました。短い期間でしたが技師会の仕事に携わる機会をいただき私なりに努めることができたのも田中会長をはじめ理事の皆さまのご指導によるものと感謝申し上げます。

また、年間事業においては手探り状態だった私を支部役員、会員の皆さまに支えていただきながら無事に遂行することができましたこと本当に感謝申し上げます。

支部理事としての仕事をやっと思えたところでの退任で申し訳ない気持ちですが貴重な体験をさせていただきましたことは私の財産になることと思います。

さて、本年度より埼玉医科大学総合医療センターの大野哲治さんに新理事として第三支部を引き継いでいただくことになりました。支部役員も若々しい顔ぶれで今後の第三支部の活躍を楽しみにしております。何かお手伝いできることがあればいつでもお声掛けください。今まで本当にありがとうございました。

### 理事（総務）第四支部



齋藤 幸夫  
深谷赤十字病院

5年間第四支部理事を担当させていただきました深谷赤十字病院の齋藤です。第四支部は埼玉県の約半分を占める広大な支部で、伝統を重んじる温故知新のような仲間から成り立っています。歴代の理事の皆さまに負けないように、会員中心で行う勉強会、秩父・深谷・行田で毎年行われている公益活動、暑い熊谷で行われる支部合同勉強会など企画・継続してきました。少しは四支部の活動に貢献出来たでしょうか？この5年間の経験は、私にとって有意義であり、多くを学ぶことができました。また理事の活動を支援していただいた深谷赤十字病院放射線科部の皆さまには深く感謝申し上げます。最後に、一部のコアなファンから絶大な支持を得ていた、会誌掲載中の「ぶらり四支部の旅」は終了となりますのでご了承ください。ありがとうございました。

理事（総務）第六支部



山口 明  
埼玉県立がんセンター

5年間の支部役員を経て、前期より支部会長および支部理事を務めさせていただきました。支部での活動が中心となり、支部理事として本会の発展に貢献できたか疑問ではありますが今期をもちまして退任させていただきます。

今後は一会員として、埼玉県診療放射線技師会と共に成長していきたいと思っております。会員の皆さま、役員の方々、ご協力およびご指導いただき本当にありがとうございました。

役員退任と就任のあいさつ

監事退任・顧問就任



鈴木 正人  
埼玉県県会議員

このたび、監事を退任することになりました。市議会議員から県議会議員になった年から監事として就任させていただき、長年にわたり歴任させていただきました。診療放射線技師の皆さまの医療に対する貢献は極めて高いと感じております。

ラジエーションハウスも国民的な人気番組になり嬉しく思います。

今後は顧問としてバックアップさせていただきます。私も一度は政治の道を引退しようと思いましたが、家族の協力の下、まだまだ貢献できると確信しています。一緒に医療の世界で貢献させてください。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 第5回救急撮影ケーススタディ開催報告

学術委員  
滝口 泰徳

2019年3月2日（土）に、第5回救急撮影ケーススタディをさいたま赤十字病院で開催しました。本セミナーはグループ形式で症例検討を行い、他施設の診療放射線技師と交流しつつ、疾患に対する理解を深めることを目的としています。今回は救急外傷にターゲットを絞り以下のプログラムで講義を行いました。

### プログラム（敬称略）

- |             |   |
|-------------|---|
| 14：00～15：00 | 外傷救急の基礎知識と、時間を意識した外傷 CT 診断 FACT<br>埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純 |
| 15：00～16：00 | グループワーク①「3次外傷における外傷ケーススタディ」<br>さいたま赤十字病院 渡部 伸樹          |
| 16：00～17：00 | グループワーク②「見落としやすいを見落とさない、外傷診断のポイント」<br>上尾中央総合病院 井田 篤     |

「外傷救急の基礎知識と、時間を意識した外傷 CT 診断 FACT」は座学形式で行われ、時間の猶予の少ない3次救急における外傷初期診療のポイントについて講義がありました。「3次外傷における外傷ケーススタディ」では、1つ目の講義であったFACTを中心に、読影から患者救命のため、どのような順序で治療を行っていくかグループワーク形式で行いました。「見落としやすいを見落とさない、外傷診断のポイント」は1次や2次救急の日常の外来でも遭遇するような疾患ですが、その病態を知っていないと見逃す可能性がある外傷疾患について、グループワークを交えながらの講義が行われました。

今回も参加者にアンケートを取り、大変有意義であったという意見が多く、これから救急に携わる若手の方からもすぐに役立つ内容であったとの意見を頂戴しました。次回も多くの方の参加を心よりお待ちしております。最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまに、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー 2019年度（第21回）SARTセミナー

総務委員会常務理事  
城處 洋輔

公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会合同主催のフレッシューズセミナー（SARTセミナー）が開催され、受講者数は73人と例年同様に多数のご参加がありました。

本セミナーは技師会活動の紹介と新人教育を目的としたセミナーであり、就職して間もない新社会人を対象としています。そのため、講習内容としては社会人としての一般的マナーから、実際に診療放射線技師として働く上で必要な基本的な知識を学びました。いずれの講義もすぐに現場で役立つと参加者からも評価を得ています。本セミナーの受講生が、技師会に入会していただき、さまざまな場面で活躍してくれることを期待します。受講生や講師の皆さまには、この場をお借りしてお礼を申し上げます。当日の詳細を以下に記します。

日程：2019年5月26日（日）

会場：済生会川口総合病院 東館講堂

プログラム：

1. 会長挨拶・技師会について
2. 社会人としてのエチケット・マナー講座
3. 患者さんに優しい診療放射線技師
4. 医療安全講座
5. 感染対策講座
6. 実際の検査について
  - ・消化器
  - ・CT・肺
  - ・MRI
  - ・一般撮影
7. 気管支解剖講座
8. 入会案内

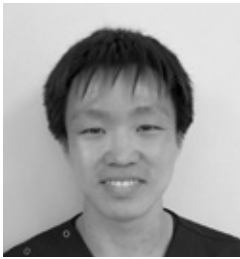
- |                      |
|----------------------|
| 田中 宏（埼玉県診療放射線技師会会長）  |
| 中根 淳（埼玉医科大学総合医療センター） |
| 結城 朋子（済生会川口総合病院）     |
| 矢島 慧介（上尾中央総合病院）      |
| 佐々木 健（上尾中央総合病院）      |
| 浅見 純一（行田中央総合病院）      |
| 荻野 奈規（済生会川口総合病院）     |
| 津田 和幸（埼玉医科大学病院）      |
| 高橋 忍（埼玉医科大学病院）       |
| 富田 博信（済生会川口総合病院）     |





## フレッシューズセミナーに参加して

埼玉医科大学病院  
澤 宏紀



診療放射線技師としてまた、社会人として働き始めてから2ヵ月が経過しようとする5月26日（日）に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会および日本診療放射線技師会が主催する診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーが開催されました。本セミナーは診療放射線技師1年目を対象とし、技師会の活動の紹介や日常業務に必要な社会人としてのエチケットやマナー・医療安全・感染対策・各モダリティの実際の検査についてなど、多岐にわたる実用的な内容でした。そのため、今後すぐに臨床現場で生かせる技術や知識を習得したセミナーとなりました。

次に、本セミナーにおけるプログラムについて述べたいと思います。まず始めに田中宏会長より技師会についてのお話がありました。そこで診療放射線技師や放射線についての講演を教育機関や地域で開催することが容易ではないことを知りました。社会貢献をするためには個人では限界があり、団体として活動することの重要性を知りました。

社会人としてのエチケット・マナー講座では、職場の方々との円滑なコミュニケーションを取るための言葉遣いが主なテーマでした。言葉遣いはその人の人柄を表す指標になると思います。さらにエチケットやマナーが守られていないと円滑なコミュニケーションに支障をきたし、より良い医療を提供することができなくなることに繋がる可能性もあると考えます。そのため言葉遣いやエチケット・マナーは、非常に重要なことだと思います。このことを心得ておきたいと思います。

今回のセミナーで最も印象に残ったセミナーは、「患者さんに優しい診療放射線技師」です。この中で第一印象は表情や身だしなみなどの視覚情報が55%、あいさつや言葉遣いなどの聴覚情報が38%で決まるというものでした。そして第一印象が悪いと円滑な検査に支障が出ることを学びました。検査の質を上げるために技術を磨くことも大切です。しかし、患者さんは専門の事は分かりません。患者さんの立場になって考えると第一印象こそが患者さんにとっての検査の質に直結すると思います。そのため私はあいさつを徹底し第一印象を良くすることに努めたいと思います。このことが患者さんに優しい診療放射線技師につながることを信じています。

実際の検査については、胃のバリウム検査・CT・MRI・一般撮影・気管支の解剖講座とどの検査も実践的な内容でした。特に気管支解剖講座では、気管支に色を塗る、気管支の走行方向を腕で表現する体操をするなど繰り返し気管支の解剖を確認した後CT画像で気管支を追っていくという内容でした。この目と手で繰り返し確認する方法はとても覚えやすく、CT画像にも応用できました。

私は、本セミナーに参加して、成長するためには勉強をすることが大切だと感じました。最後に、勉強会やセミナーに参加することは、高度な技術や知識を提供するだけではなく、プロフェッショナルとしての自覚を持ち、より良い方法を追求し続ける意識付けとして必要であると思います。今後ともより一層の研鑽を積み診療・研究・教育のさまざまなことに貢献したいと思います。

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加して

済生会川口総合病院  
前田 祐佳



今回、済生会川口総合病院で開催された第21回診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加させていただきました。午前中は技師会についての基本的な説明から始まり、社会人としてのエチケット・マナー講座、患者さんに優しい診療放射線技師・医療安全講座・感染対策講座などの医療人、社会人として基本的かつ重要なことを教えていただきました。午後は、消化器の検査・胸部CT検査・MRI検査・一般撮影について、そして気管支解剖についての講座が行われました。

午前中のエチケット・マナー講座では、会議室や飲み会での正しい座席、目上の人に対する言葉遣いなどを参加者が質問に答える形で教えていただきました。このようなことは普段意外と教えてもらう事はないですが、社会人として必ず求められる最低限のスキルです。この講義で自分の礼儀作法や一般常識がいかに不足しているかを痛感しました。それを知れただけでもこの講義には大きな意味があったと感じています。「患者さんに優しい診療放射線技師」の講義では、診療放射線技師ではなく患者さん視点での「良い放射線技師」はどのようなものかということ学びました。私は診療放射線技師として働き始めて約2ヵ月、仕事を覚えることに必死で、診療放射線技師としてのスキルを得ることばかりに重きを置いてしまっていることにこの講義で気が付きました。患者さんが関わりたいと望むような清潔感・礼儀正しさをもち患者さん一人一人に臨機応変に対応できる力も身に付けたいと思いました。医療安全講座、感染対策講座では、手洗いの方法について実践を交えて教えていただき、あらためて感染対策がいかに重要なものであるかを学ばせていただきました。

午後の講義では、実際の検査についての知識を得ることが出来ました。消化器の検査では、胃の造影についてストマップを用いながら教えていただき、大変興味深いと感じました。また胸部CT検査についての講義ではCT画像における代表的な所見や用語、肺がんの分布の仕方の見分け方など今後必須だと思われる知識をご教授頂き、とても有難かったです。一般撮影の講座では、明日からでも活用したくなるちょっとした撮影のコツ・豆知識から、画質の管理の話まで多くのことを知りました。とても実用的な講座で楽しかったです。そして最後の気管支解剖講座では、学生時代から難解だと思っていた気管支の解剖および肺のセグメント分類を楽しく理解することができました。一人一人が配布された自分の用紙に数字を書き込んだり、気管支体操で体を動かしたりと能動的な学習を多く取り入れていることによってこんなにも容易に覚えることができたのだと思います。

今回フレッシューズセミナーに参加して、自分に何が足りないのか、どのような意識をもって働いていくべきかを考えさせられました。また、ほかの病院の診療放射線技師とつながりを持つことの大切さ、今後自分が目指すべき方向を学べたことは大きな収穫となりました。今回学んだことを生かして日々の業務に取り組み、患者さんにより良い医療を提供するためにも継続して技術や知識の向上に努めようと思います。

## 2018 年度ホームページアクセス数

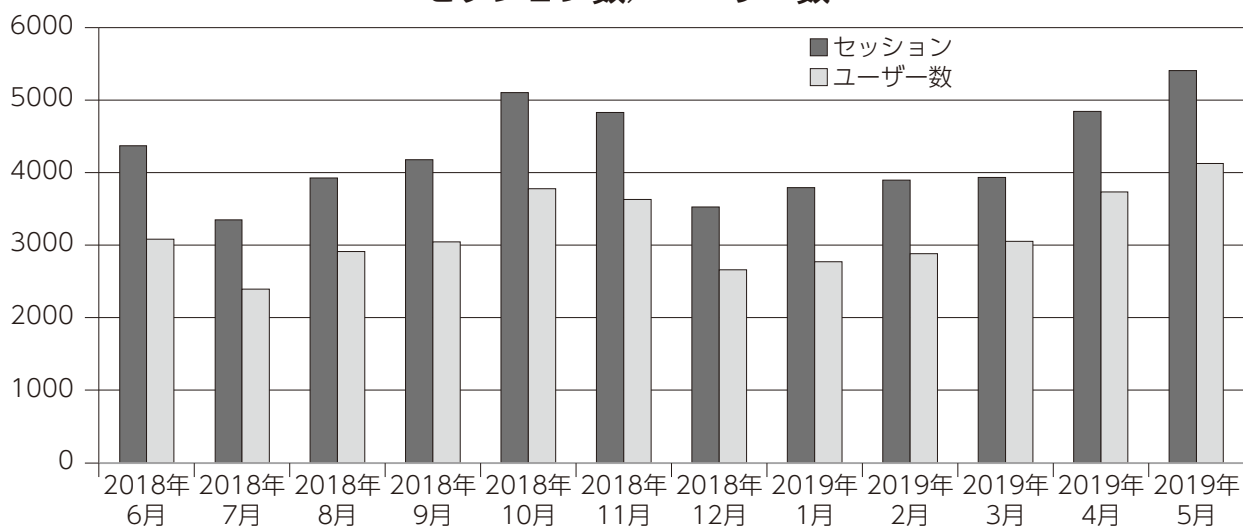
2018 年 6 月～ 2019 年 5 月 人気ページ

	ページ タイトル	ページ ビュー数	ページ別 訪問数	平均ページ 滞在時間	閲覧開始数
1	診療放射線技師   トップページ	25827	16296	32.32	14872
2	放射線 Q&A	19686	18450	300.53	18221
3	イベント	9925	6181	21.44	482
4	学術案内	9814	5427	28.5	1813
5	会誌「埼玉放射線」	2627	1400	26.48	187
6	認定技師	2620	1586	24.46	229
7	支部	2267	1719	71.55	327
8	お知らせ	1948	1309	26.76	73
9	一般の方	1434	1002	23.63	517
10	第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告	1220	1048	98.1	536
11	2018 年度 MRI 基礎講習会のお知らせ～専門技術者試験（性能評価）から学ぶ MRI の基本知識～	1091	996	89.03	287
12	胸部認定者	1018	897	93.97	343
13	第五支部情報交換会のおしらせ	956	844	39.05	114
14	各種手続き	935	748	78.58	132
15	学術データベース	931	733	73.26	86
16	第 71 回 埼玉 CT Technology Seminar 学術集会『CT の未来を考える』	917	831	97.91	129
17	循環器 CT セミナー 2018 のご案内	916	816	113.87	473
18	公益社団法人埼玉県診療放射線技師会について	906	719	30.92	100
19	CT 認定者	899	798	68.46	268
20	第 26 回 CT 関連情報研究会のご案内	857	773	82.77	131
21	放射線検査紹介	831	708	120.43	475
22	報告	803	639	12.92	14
23	役員・委員会	797	716	146.47	444
24	診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー 2019 年度（第 21 回）SART セミナー	767	663	134.21	215
25	平成 30 年度 SART TART 支部合同勉強会 骨軟部撮影セミナー 2019	719	671	133.48	223

### 過去1年間の月別アクセス数

月	セッション	ユーザー数	ページビュー
2018年6月	4367	3079	11056
2018年7月	3349	2394	8903
2018年8月	3926	2913	9993
2018年9月	4175	3048	11648
2018年10月	5101	3774	13858
2018年11月	4827	3629	12144
2018年12月	3523	2662	9602
2019年1月	3789	2772	10964
2019年2月	3894	2882	10642
2019年3月	3929	3053	9133
2019年4月	4844	3733	11191
2019年5月	5406	4122	12725
	51130	38061	131859

### セッション数／ユーザー数



#### ユーザー数

2016年度 (2016.6～2017.5) 18932  
 2017年度 (2017.6～2018.5) 22198  
 2018年度 (2018.6～2019.5) 38061

2017年度から2018年度ではユーザー数⇒1.715倍に増加  
 2016年度から2018年度ではユーザー数⇒2.010倍の増加



## 業務拡大に伴う統一講習会 北関東地域（埼玉県）開催報告

総務理事  
城處 洋輔

公益社団法人日本診療放射線技師会の主催とする業務拡大に伴う統一講習会が、以下の日程において開催された。講義および実習を通じて業務拡大に伴う必要な知識や技能の習得、またはそのきっかけになった事と思われる。受講生の皆さま、実習を担当された指導者や会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてご御礼申し上げます。

### 埼玉県 第12回

日程：2019年4月20日（土）、21日（日）  
場所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール  
参加者：13人

### 埼玉県 第13回

日程：2019年5月11日（土）、12日（日）  
場所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール  
参加者：23人

### プログラム：

#### <1日目>

- 9：00～ 9：50 講義（DVD 放映） 静脈注射関係
- 9：50～ 10：40 講義（DVD 放映） 静脈注射関係
- 10：50～ 11：40 講義（DVD 放映） 静脈注射関係
- 11：50～ 13：10 実習・演習 静脈注射
- 14：00～ 14：50 講義（DVD 放映） 法改正
- 14：50～ 15：40 講義（DVD 放映） IGRT
- 15：50～ 16：40 講義（DVD 放映） IGRT
- 16：40～ 17：30 講義（DVD 放映） IGRT
- 17：40～ 18：40 実習・演習 BLS

#### <2日目>

- 9：00～ 9：50 講義（DVD 放映） 下部消化管
- 9：50～ 10：40 講義（DVD 放映） 下部消化管
- 10：50～ 11：40 講義（DVD 放映） 下部消化管
- 11：40～ 12：30 講義（DVD 放映） 下部消化管
- 13：20～ 14：10 実習・演習 下部消化管
- 14：20～ 15：10 実習・演習 IGRT
- 15：20～ 16：10 試験説明および確認試験



静脈注射・抜針実習



IGRT 実習



確認試験